

令和6年度第10回 伊豆市教育委員会会議録

期 日 令和7年1月28日（火） 午後6時30分から午後8時30分まで
会 場 生きいきプラザ 談話室
出席者 佐藤雅彦委員、勝呂留奈委員、梅原一仁委員、猪股園恵委員
鈴木洋一教育長
委員及び傍聴人以外の出席者
教育委員会教育部
部長 小塚 剛、学校教育統括監 室野行宣、学校教育課長 塩谷俊一、
社会教育課長 鈴木利明、学校教育課主幹 小澤真紀、
学校教育課主査 駒坂たえ子

1 開 会 （鈴木教育長）

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

教育長より、以下の項目について資料に基づき報告及び説明がされた。

（1）前回教育委員会以降の主な行事等

12月20日	12月議会最終日
23日	市内校長人事構想面談
24日	市内小中義務教育学校2学期終業式
28日	～1月5日 年末年始閉庁
1月6日	仕事始めの式
7日	市内小中義務教育学校3学期始業式
10日	市内園長・センター長・校長会
12日	二十歳を祝う式典 消防団出初式
14日	静東教育事務所個々面談、市就学支援委員会
15日	A L Tプロポーザル
16日	教員研修協議会研修会、田方地区教育長会、学校保健理事会
19日	伊豆市駅伝大会
21日	地域協議会（高校教育課）、開校準備委員会
23日	静東教育長会
26日	井上靖コンクール（天城会館）
28日	実学講座（中2，義8年対象）、1月定例教育委員会

(2) 今後の予定

1月29日	臨時教育長会
30日	市内校長人事評価面談、区長会（修善寺）
31日	感染症対策講演会、伊豆中学校説明会（天城支所）
2月2日	伊豆中学校説明会（生きいきプラザ）①14時～ ②19時～
3日	市内校長会、伊豆中学校説明会（中伊豆支所）
4日	私立入試①、伊豆中第4次答申受領、田方地区教育長会、区長会（中伊豆）
5日	私立入試②、市長戦略会議、伊豆中学校新入生説明会、防災会議、区長会（天城）
6日	学校保健活動優良候補校視察、教員研修協議会委員会、区長会（土肥）
7日	教頭人事評価面談
10日	給食プロポーザル
12日	3月議会（初日）
17日	市長戦略会議、伊豆市教育センター総会
20日	寄付贈呈式
25日	定例教育委員会

※3月議会 2/12～3/24 一般質問 3/4～6

(3) 市内小中学校の様子について

【生徒指導に関すること】

問題行動・いじめ

- ・児童が注意されたことに対して、過激な態度で反論してくる保護者が見受けられる。
- ・自分の写真が SNS に拡散されて困っている事案が頻繁に起きている。

不登校

- ・兄弟姉妹が不登校になると、他の兄弟姉妹も不登校になるケースがある。
- ・家庭の協力により、児童が登校に少しずつ前向きになっているケースもある。
- ・不登校の人数が相変わらず多い。

その他

- ・インフルエンザによる複数の学級閉鎖があった。
- ・給食の時、嘔吐物の処理が適切ではなかった事案があった。
- ・天城小学校の国道沿いの駐車場に、横断歩道の横からの侵入を防ぐ進入防止ポールを設置したことで、車両の通行がよりスムーズで安全になった。
- ・YouTube の校歌チャンネル「勿忘歌—わすれなうた—」において校歌を残してくれることから、掲載を許可した。
- ・中学生の放課後活動支援で試行した、いずろーカルクラブが全 12 回の活動を終えた。
- ・生徒が所属するバレーボールチームがジュニアオリンピックの静岡県代表として出場し、生徒はエースアタッカーとして活躍した。

教育委員：保護者への対応は難しい。良くも悪くも熱心な保護者と教員との間で温度差が生じることがあり、教員のみで対応を行うと精神的負担や教員不足を招く可能性がある。そのため、第3者機関が仲介する仕組みがあればよいと感じた。

教育委員：年度末にも関わらず多くの生徒が不登校の状況にある。児童、生徒の中には学校へ行きたい気持ちがありながらも、保護者の学校へ行くのが当たり前という価値観との葛藤が見られる。また、子ども同士のトラブルに保護者が過度に介入し、学校に苦情を申し立てる状況が増えていることは懸念している。

教 育 長：県が「しずおかバーチャルスクールの運用」を開始し、出席や成績の扱いについても検討されている。バーチャルに夢中になって、現実の学校へ足が遠のいてしまうことは懸念される。高等学校でもオンラインで勉強できる学校も増えてきて、実際に進学していく子もいる。

教育委員：不登校の子の選択肢が多い方が将来のためになる。

教 育 長：オンラインで学んで、その先の社会に適応できるかが課題だ。

教育委員：伊豆中学校と学習支援教室の「いごこち」の距離も近くなるため、上手く連携すれば出席率が上がるのではないかと期待している。また、インフルエンザやコロナウイルスに加え、ノロウイルスの流行が始まっている。ノロウイルスは空気中に飛散し感染する可能性があるため、手洗いやうがいの徹底、嘔吐・下痢の処理方法について、学校や家庭に向けた発信が必要だ。

教 育 長：学校では1クラスにつき1セットのノロウイルス嘔吐処理キットが設置されており、職員間での共有を進める。

教育委員：伊豆中学校の校舎を見学したが、不登校の子も伊豆中学校に行きたいと思ってもらえると良い。天城小学校の駐車場への進入防止ポール設置による効果的な安全対策について、このような工事は子どもの危険防止に関わるため積極的に進めてほしい。また県の教育委員会で開催した地域協議会の高校についてのヒアリングも、子供たちが将来を考えるきっかけづくりや地元の高校のアピールになる。

教 育 長：地域協議会のヒアリングの意見の中には、通学の便や特色ある学科の設置要望があった。例えば商工会からは、この地域の観光業が特に人手不足であるため即戦力になるような学びの提供や、和食に特化するような調理師の育成等の意見が出た。今後も数回意見交換をして学校教育課に意見書を届けるということだった。

教育委員：せっかく伊豆総合高校入って専門分野を学んでも、その後全く異なる専門学校へ進学するケースがあり、目標への遠回りとなってしまう。高校で学んだことが働く力へ直結する流れを作ることを積極的に PR することで志願者増加につながるのではないかと。

教 育 長：授業料の援助や、進学先を早めに確定しておきたいという流れから私立高校に進学する子が増えてきている。

教育委員：中学生の段階で将来の方向性を決めることが難しい。高校で専門学科を選んで

も、目標に進めるかどうか不安を抱える生徒や保護者が多い。そのため、高校では普通科や商業科に進学し、3年間で方向性を決める傾向があるとの見解が示された。一方で、明確な目標を持つ生徒にとっては田方農業高校が人気となっている。自分の将来に繋がるような魅力ある学科が伊豆総合高校にもあればきっと進学率も上がると思う。

教 育 長：生徒数が減少すると専門分野を教える教員の配置が難しくなるため、オンラインを活用して上手く学べたらよい。

4 議事

議案第41号 伊豆市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則の一部改正について

＜学校教育課長＞

これまで学校評議員が担っていたものを学校運営協議会が担うことに変更されたことに伴う規則の改正になる。

上記説明の後、特に異議がなく承認された

議案第42号 伊豆市通学補助金交付規則の一部改正について

＜学校教育課長より＞

これまで自宅から学校まで2キロ以上を要する児童・生徒にバスの通学定期券を交付していたものを、令和7年度の伊豆中学校の開校を機に、市内どの停留所からも乗降可能な、エリア定期券を生徒に交付することとするため、それに必要な規則改正を行うものである。エリア定期券は、学区が広域化するにあたり、伊豆中学校の通学や土肥小中一貫校との合同部活動への行き来、修善寺駅までの移動にも活用できる。今後の通学環境の大きな変化や地域におけるスポーツ活動・文化活動、総合的な学習や職業体験等におけるバスの活用にも柔軟に対応できるよう、令和7年度からエリア定期券の導入をするための規則改正を行う。中学生にはエリア定期券を導入する一方で小学生には今まで通りの通学補助金規則を適用する。

教育委員：牧之郷地区に住む子どもたちで電車通学の子が一定数居る中で、来年度は電車通学からバス通学に変えてもらうのか。牧之郷から伊豆中学校まで少し距離がある中で、交通手段の変更は子どもたちや、朝送り出す保護者の負担にならないか心配だ。

学校教育課長：電車よりバスの方が便が少ないため、確かに不便さを感じる部分もあるかもしれないが、通学時間帯にバスが来るようにダイヤを調整している。

教育部長：電車定期とエリア定期券を補助として両方出すことはできない。どうしても電車で行きたければ自分で購入してもらい、修善寺駅から歩くことになる。

教育委員：バスの方が伊豆中学校入口まで行くため便利だ。

教育部長：電車で1駅の行き来のしやすさよりも、本数は少ないながらも子供たちが自由に使える交通手段としてエリア定期券を採用した。市長としては土肥小中一貫校への行き来や部活動、さらには遊びにも交通手段として使ってもいいという考えた。どちらを選択していくかは、今後の利用状況を見守っていく。

教 育 長：保護者が1日に2回、朝と帰りに送迎する手間を考えるとエリア定期の方が便利だと言える。また、牧之郷駅から乗るにしても駅まで遠い子供たちや、自転車通学の子どもたちも使える。

教育委員：そう考えると子どもたちにとっては自由に使える交通手段が増えてメリットの方が大きいと言える。

教育部長：自転車通学の生徒も雨が降ったらバスに乗っていくこともできる。

上記意見交換の後、特に異議がなく承認された

議案第43号 令和7年伊豆市議会3月定例会に提出する議案について

令和6年度一般会計補正予算について

＜学校教育課長より＞

伊豆中学校の整備事業の委託料、工事請負費、備品購入費の費用の一部を令和7年度へと繰り越すことを説明する。

令和7年度一般会計当初予算について

＜学校教育課長、社会教育課長より＞

令和7年度当初予算については主要事業を中心に説明する。

教育委員：現在運営中の放課後児童クラブを規模拡大して、修善寺中学校の給食棟に移設するということか。

学校教育課長：現在、修善寺南小学校区域の児童クラブとして、隣接するこひつじ園と認定こども園あゆのさと内にあゆっこという児童クラブを設置している。修善寺中学校の給食棟を改修し、移転を計画している。

教育部長：こひつじ園は慢性的に待機児童がいる状態で、現状の施設に入りきらない状況だ。施設自体を広くすれば待機児童を受け入れることが可能となる。あゆのさととはこども園の一部を使っているため人数的にも1年生以上の受け入れは難しい。

教育委員：東京大学交流事業予算の具体的な内訳を知りたい。

教育部長：東京大学（大学院教育学研究科）との協定で、子どもたちだけでなく先生方にも学んでもらいたいと考えている。例えば東京大学附属の学校への研修や、学生の伊豆市への教育実習受け入れなどが主になる。

教 育 長：現在は土肥小中一貫校に定期的に来てくれているので、今後は伊豆中学校にも

来てもらって寺子屋のような、子どもに勉強を教えてくれるような場を考えている。

統括監：東京大学(大学院教育学研究科)の方も教育実習に協力してくれるのであれば、予算的にはそこまで規模が大きくななくてもそれなりのことはできると思っている。

教育長：3月14日に協定を結ぶ予定で、その前の2月にも土肥小中一貫校に来てくれることになっている。

教育委員：伊豆タイム事業の予算は予算額で足りるのか。

教育長：水曜日の5時間目を中心に、バス待ちの生徒を対象に予定している。

教育部長：現在調整中だが、この金額に収まる内容で予定はしている。

教育委員：体育館の熱中症対策備品購入費は予算額で足りるのか。

教育部長：避難所に指定されている体育館にはもっと費用をかけて整備したいところだが、何千万円とかかかってしまう。危機管理課でも検討はしてくれていて、市長も避難所にはエアコンを整備したい気持ちはあるようだが財政的に厳しい。

教育委員：美術館建設に関しては、施設規模と予算を踏まえて最善の形に向けた検討をしてほしい。美術館建設整備に向けた検討支援謝礼は必要なのか。事業の進捗はどうなっているのか。

教育部長：民間事業者に対して事業について関心がある事業者もある。民間事業者の中で修善寺にポテンシャルを感じて施設の建設と美術館事業に興味をもってくれる事業者があれば進めていきたい。今後、更に事業者を探す必要が生じた時の支援業務への謝礼である。

教育委員：予約システムを導入するにあたりキャッシュレスになり、伊豆市スポーツ協会の役割は減ることになるが、補助金も減るのか。

教育部長：今まで行っていた窓口の受付や施設とのやりとりにかかっていた費用分をシステムの運用に充てている。

教育委員：社会教育課の保健体育総務費で、部活動地域移行実証事業委託料の予算をとってあるが、伊豆市は地域移行する予定があるのか。

教育部長：この予算に部活動地域移行と名前が入ってはいるが、中学校の部活動の地域移行関連とは別物と考えている。

教育委員：地域移行は検討しているのか。

教育部長：この予算は将来的に部活動や地域のクラブにも所属しない子どもたちの受け皿として、社会教育の生涯学習の観点で何かできないかという活動支援を検証するための予算になる。

教育委員：伊豆市の部活動の在り方についての方向性はどうなるのか。

教育部長：教育委員会自らが方向性を示していかなければならない。国は勤務時間を守るように言っているため、先生が子どもたちの部活動を指導する時間もなくなるのではないかと考えている。今後、部活動自体もどうなるかわからないため、社会教育課では生涯学習の観点から受け皿になるものができるか探っている。

教 育 長：将来的には時間外手当が制限させる可能性もある。

教育委員：それではほとんどサービス残業と一緒だ。

教 育 長：そのため、中学校の下校時間を部活動があっても 16 時半にしたのは、勤務時間
の中でできる範囲部活動の指導をするという目的でもある。

上記意見交換の後、特に異議がなく承認された

議案第44号 令和7年度教育委員会所管の工事計画について

＜学校教育課長より＞

1 件 130 万円以上の工事 7 件の計画策定について説明する。

上記説明の後、特に異議がなく承認された

議案第45号 令和7年度教育財産の取得について

＜学校教育課長より＞

1 件 80 万円を超える教育財産 1 件の取得の申出について説明する。

上記説明の後、特に異議がなく承認された

5 報告・連絡事項

中伊豆室内温水プール長寿命化改修工事に関する専決処分について

・社会教育課長より、中伊豆室内温水プール長寿命化改修工事の契約変更の専決処分について説明をする。

社会教育課 2月行事予定

・社会教育課長より、2月の行事予定について説明する。

指定校変更について

・統括監より、8名の指定校変更について報告する。

6 意見交換会

特になし

7 その他

特になし

8 次回教育委員会

次 回 教育委員会 2月25日(火) 18:30～

次々回 教育委員会 3月25日(火) 18:30～

9 閉会(鈴木教育長)